

## 会議録

会議の名称	令和7年度第2回戸田市バリアフリー基本構想推進協議会
開催日時	令和8年1月8日(木)10時~11時30分
開催場所	戸田市文化会館304会議室
会長氏名	久保田 尚(埼玉大学大学院 教授)
出席者氏名	菅原 麻衣子(副会長) 猫本 力、内海 靖美、渡辺 千鶴子、上田 正雄、秋元 淑子、中目 尚之、横田 秀子、小山 勝彦、隅藏 雄一郎、佐藤 潤、落合 誠(代理:斎藤 光紀) 川幡 嘉文(代理:佐藤 景子) 久武 雅人、藤田 茂、船津 宗和(代理:柴田智和) 渡邊 昌彦、山上 瞳只(代理:平野 圭郎) 秋元 幸子、香林 勉、櫻井 聰、後藤 英明、早川 昌彦、川和田 亨
欠席者氏名	石原 純子、飯田 直子
説明のため出席した者	無し
事務局	都市整備部 熊木次長 都市計画課 寺本副主幹、茂原主事、早間主事、原口主事
進行概要	1 開会 2 挨拶 3 報告 まち歩きワークショップの実施報告について 4 議題 (1)戸田市バリアフリー基本構想の更新版(案)について (2)その他
会議の結果	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
配布資料	・次第 ・委員名簿 ・協議会要綱 ・資料1:まち歩きワークショップの開催概要 ・資料2:前期事業(令和3年度から令和7年度まで)の着手率について ・資料3:戸田市バリアフリー基本構想(更新版)(案) ・参考資料1:まち歩き意見一覧(配慮事項への反映項目) ・参考資料2:特定事業計画における事業数について

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p><u>1 開会</u></p>
会長	<p><u>2 挨拶</u></p>
事務局	<p>議事に入る前に、本年度第1回の協議会で頂戴したご質問に対して、回答させていただきます。</p> <p>委員から、「戸田市バリアフリー基本構想に定める特定事業を実施するにあたり、事業としての総予算規模はどのくらいになるのでしょうか。事業によっては国の補助が挙げられているなどで複雑になっていると思いますが、全体の予算規模がどれくらいで、完了した部分において、戸田市はどれくらいの支出をしているのか明確にしていただきたい」というご質問を頂戴しておりました。こちらについて回答をさせていただきます。</p> <p>特定事業には、工事や修繕を行う「ハード面」と、心のバリアフリーや情報のバリアフリーなど、人件費を主とする「ソフト面」がございます。特定事業を実施するために支出した金額に限った抽出は難しいと考えておりますが、工事費においては、活用できる補助金は全て活用している状況となっております。</p> <p>補助金制度については、事業全体のうち補助対象となる範囲が定められており、補助率はその対象事業の2分の1が一般的となっております。ただし、国の予算状況により、要望額が満額交付されないケースも多く、結果として事業費全体に対する補助金の割合が2分の1を下回ることとなります。</p> <p>参考までに、現在施工中の北戸田駅西口駅前広場の整備事業（ロータリー等の駅前交通広場の工事、スペースやベンチ等を設置する駅前交流広場の工事）においては、総事業費として約5億6千万円となっております。</p> <p>続きまして、副会長から頂戴した「特定事業の評価について、人的対応、心のバリアフリー推進も含むということですが、その評価についてはどのようにするのか」というご質問に対して回答させていただきます。</p> <p>前回の協議会では、事務局として数字で示せるものがあれば報告させていただきましたとしておりました。事務局にて、心と情報のバリアフリーの数値的な評価について検討いたしましたが、「何をもって良しとするか」という基準の設定や数値化が困難であるため、今回は進捗率での管理とさ</p>

	<p>せていただきました。</p> <p>こちらの内容は資料 2 に記載しておりますので、後ほどの議題でご確認いただきたいと存じますが、人的対応、教育計画、心と情報のバリアフリーなどのすべての特定事業項目について進捗率は 100 % になったことを報告させていただきます。なお、今後の評価の参考とするため、数値的な評価指標について、皆様からアドバイスをいただけますと幸いです。</p>
副会長	<p>着手率 100 % という数字は素晴らしい、数字だけ見れば非常に取り組まれていることは分かりますが、何を行っているのか、取組の内容も大事ではないかと考えます。資料 2 を拝見しますと、事業数が 85 となっています。すべてを把握するのは難しくとも、例えば主要な例をいくつか具体的に挙げていただき、実施内容をこの協議会の場で共有・意見交換を行い、それを事業者にフィードバックしていくこともできると思います。数字のみで判断するのではなく、事業の中身にも触れられるような取組をされていくといいのではないかと考えています。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>来年度以降の進捗率の報告の際に、皆様により理解していただけるような形でご報告をさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p><u>3 報告</u></p> <p>報告事項「まち歩きワークショップの実施報告」について、事務局より説明願います。</p>
事務局	( 内容説明 資料 1 )
会長	ありがとうございました。報告事項「まち歩きワークショップの実施報告」について、意見、質疑等がございましたら挙手をお願いします。
委員一同	( 意見、質疑等なし )

会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>まち歩きワークショップについては、非常に有益な活動となっておりました。ご参加いただいた皆様、どうもお疲れさまでございました。</p>
会長	<p><u>4 議題</u></p> <p>議題（1）戸田市バリアフリー基本構想の更新版（案）について、事務局より説明願います。</p> <p>（内容説明 資料2、資料3、参考資料1、参考資料2）</p>
会長	<p>ありがとうございました。議題（1）戸田市バリアフリー基本構想の更新版（案）について、意見、質疑等がございましたら挙手をお願いします。</p>
委員	<p>「いいとだマップ」は非常に良い取組だと思っています。しかし、このマップの認知度を、今後どのように高めていくのか、どのように人の目に触れられるように取り組んでいくのかが気になっております。私個人の案ではありますが、マップは外出時にこそ活用されるものですので、市や自治会の掲示板、電柱広告などを活用すれば、直接市民の目に触れる機会を増やすことができるのではないかと考えております。</p> <p>また、資料3冒頭の市長のお言葉において、「障がい者」という言葉の表記が混在しており、少し読みづらさを感じました。市として「害」の字をどのように表記するのか（漢字、ひらがな、旧字体）当事者にとっては読みやすさの印象につながる部分であり、市長のメッセージという重要な箇所でもありますので、一定の統一感をもたせていただければと感じます。</p>
事務局	<p>まず1点目のいいとだマップの周知についてですが、本事業の主な所管課がデジタル戦略室となっております。マップ内にはバリアフリーの情報など、重要な情報が掲載されていることから、今後の効果的な周知方法について担当課と連携を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>2点目の市長の挨拶文における「障がい」の表記につきまして、市の方針を説明させていただきます。挨拶文の中段にある「高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律」のように、法律名や固有名詞を引用する場合は、正式名称に従い漢字表記としております。2行目の「高齢者や障が</p>

	<p>い者」のように、市が独自に表現できる箇所については、原則としてひらがなを用いる方針となっております。</p> <p>表記が混在し、読みづらさを生じさせた点については、委員のご意見を踏まえ、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>市長挨拶文が、当初策定時である令和4年3月のものですが、今回の更新版でも挨拶文はこのまま掲載されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の基本構想の更新版につきましては、本計画の期間10年のうち、前期期間5年間が終了したことに伴う後期更新にあたります。そのため、まずは現状のまま記載させていただきましたが、委員の皆様のご意見も踏まえ、最新版に更新したいと考えております。</p>
会長	<p>一般的に、書籍等の改訂版を出版する際は、巻頭や巻末に「改訂にあたって」といった趣旨の文章を添えるのが通例かと思います。</p> <p>前回の文章をそのまま掲載し続けるのは、読み手に取って少々違和感があるかもしれませんので、更新にあたってという文言を追加していただくということでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、挨拶文の更新について検討させていただきます。</p>
委員	<p>新規生活関連経路を設定するにあたり、具体的にどのようなことを確認、改善していくのか、概略は理解しておりますが、ご説明いただければと思います。</p> <p>また、バリアフリー化の対象となる道路や施設については、管理者が多岐にわたり、予算の支出区分も複雑です。例えば国道上の点字ブロックの整備ひとつをとっても、管理区分と支出はどうなっているのかを整理していくと、非常に多くのタスクやポイントがあると思います。これらを一元的に管理するため、整備箇所を市の地図上でナンバリングし、Excelシート等の台帳と紐づけて、こここの部分は「完了」「継続」というような形で進捗状況を一目で把握できるような資料になれば、非常に分かりやすいと感じました。</p> <p>最後に、先生方にもお伺いさせていただきますが、他の自治体において、</p>

	<p>こうしたバリアフリー事業の進捗率を視覚化、あるいは具体化するための良い手法や事例があれば、ぜひご教示いただけますと幸いです。</p> <p>事務局</p> <p>まず、新規生活関連経路の設定について、基本構想の中で設定方法について記載をしております。生活関連施設相互を繋ぐ経路を生活関連経路として設定しており、今回の更新で、北戸田駅東口の東横 INN が生活関連施設として新たに設定されましたので、当該施設に繋がる生活関連経路を新たに設定しております。</p> <p>続いて、バリアフリー化の事業における予算区分につきまして、施設管理者ごとの予算で対応しております。例えば、市道で点字ブロックを設置した場合は市の予算で対応し、国道や県道も同様に、バリアフリー化に対応する整備を行う場合は、国、県のそれぞれで対応していただいております。</p> <p>最後に、進捗率を視覚的に分かりやすく示すべきとのご意見について、特定事業計画の進捗状況を毎年公表しておりますが、より分かりやすい資料となるよう努めてまいります。</p> <p>副会長</p> <p>分かりやすい進捗状況の示し方ですが、私がこれまでに参加させていただいていた自治体においても、概ね本日ご提示いただいた資料と類似の形式が一般的です。しかし、資料の内容に慣れていないと、図面や詳細と照らし合わせながら確認しないといけないという煩雑さがあります。</p> <p>一方で、全体としてどの程度進捗しているかというのを一番把握しやすいのは、本日ご用意いただいている資料 2 のように数値で示す方法かと思います。ただし、そこから個別の事業内容や詳細な進捗を細分化していくとすると、ルートを追いかけるという部分もあるのかと思います。</p> <p>進捗が遅れている箇所や事業にフォーカスを当てるのであれば、未着手や遅れている項目にのみフォーカスした資料を作成するのも一つの手法です。委員の皆様がどのような観点で進捗を評価していきたいか、それに合わせた資料作成方法については検討の余地があるかと思います。一方で、事務局側として進捗管理は多大な労力を要する業務でもありますので、全体を網羅しようとすると、現状のような資料形式になるのも致し方ないかと思うところです。</p>
--	---

委員	いいとだマップについてお伺いします。例えば施設紹介のページに、手話動画を追加していただきたいと考えています。理由といたしまして、当事者の中には、日本語の文章を読むのが苦手な方がいらっしゃいます。そのため、手話動画を追加していただくことで、より分かりやすくなればと考えています。
事務局	ご質問ありがとうございます。いいとだマップにおける施設紹介の手話動画の追加ですが、バリアフリー情報における施設紹介の手話動画が想定されます。ご意見のとおり、文章を読むのが苦手な方にも分かりやすいマップとすることは非常に重要であると考えております。引き続きいいとだマップを周知する際には、誰もが分かりやすい内容となるよう努めるとともに、手話動画を活用できないか、いいとだマップを所管するデジタル戦略室と調整を進めてまいります。以上です。
副会長	資料2について、事務局からの説明の中で、建築物特定事業における前期から後期以降へ後ろ倒しとなった事業の例として戸田市スポーツセンターの事業を挙げていただいたと思います。こちらは施設の建替えということになるのでしょうか。
事務局	建替えも含めて検討中となっております。
副会長	承知いたしました。 今後、施設の建替えが行われる際には、設計段階から当事者が参画し、直接ニーズを伝えてく機会が生じ得るのかなと思います。まち歩きワークショップやバリアフリー点検は事後評価であり、「ここが良くない」といった改善点の指摘が中心になってしまします。しかし、これらを事前に把握して設計に反映させることができれば、整備が無駄になりませんので、今後施設の更新内容が決定しましたら、当事者参画で事前にニーズを伝えしていく機会をぜひご検討いただきたいと思います。 国土交通省においても、当事者参画のガイドラインを作成されており、全国的にこうした動きが出ておりますので、自治体でもぜひ取り組んでいただくことが重要なかと思います。

	<p>非常にきれいな設備になったにもかかわらず、当事者の視点で見ると「惜しい」と感じる点があり、それを参加者の皆様と共有したところです。事前に当事者の声を反映できていれば、より使いやすいものになっていたのではないかと感じております。もったいないと感じてしまうことを、ゼロにすることは難しいにしても、少しでも減らしていくということを考えるのであれば、事前に当事者の声を反映できるような仕組みを運用していくことが重要だと思います。現状、そのような仕組みがあるのか、ある場合はどのように運用されているのかも含めて、ご意見を伺えればと思います。</p>
事務局	<p>バリアフリー化を伴う工事に関して、より安全に移動ができるように、より使いやすい施設となるように、市内の障がい者団体の代表者等で構成される「戸田市障害者施策推進協議会」において、工事の設計段階で内容を提示し、直接ご意見を伺っております。</p> <p>戸田市バリアフリー基本構想推進協議会の主旨である、誰もが安全に移動できる環境づくりという考え方を、施設所管課や工事担当課へ改めて伝えさせていただき、戸田市障害者施策推進協議会を通じて、皆様からいただいた貴重なご意見をしっかりと反映できるように、事務局からも働きかけてまいりたいと思います。</p>
会長	<p>それでは、資料3の戸田市バリアフリー基本構想更新版（案）については、本日いくつかご指摘がありましたので、再度検討のうえ、必要に応じて修正するということで進めたいと思います。</p> <p>なお、今後の進め方につきまして、修正事項について事務局でまずご検討いただき、会長・副会長で確認させていただいた後、委員の皆様にその内容を報告させていただくという段取りで進めたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>（出席の全委員からの異議なしをもって、議題（1）「戸田市バリアフリー基本構想の更新版（案）について」及び今後の進め方を承認。）</p>
会長	<p>異議が無いようですので、そのように進めさせていただきたいと思います。</p>

会長	<p>続いて、議題（2）その他ですが、戸田市のバリアフリーに関してお気づきの点、ご要望などがありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>昨今、大きな地震などが頻発しており、関東地方においてもいつ大規模な災害が発生してもおかしくない状況と言われています。こうした中で、高齢者や障がい者の避難体制に対して不安を感じています。実際に避難をして、避難先でどのように生活を維持できるのかが心配です。例えば、私のような車椅子利用者は、避難所での移動や、電動車椅子の充電のための電源確保ができるのかといった不安があります。また、聴覚に障がいがある方は、情報の多くを視覚に頼らざるを得ません。避難所でのアナウンスや声掛けがあったときに誰がどのように対応するのか等、戸田市全体のバリアフリーの一環として、こうした防災の視点も見直していただきたいと感じています。現状、基本構想の中では防災に関わる項目が含まれていないので、今後の議案として挙げていただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>まず、当事者の方々の避難所への避難支援について、事前に登録をしていただき、配慮が必要な方に対して避難をサポートする「戸田市避難行動要支援者避難支援制度」というものがございます。</p> <p>また、避難所内の設備等について、各避難所にはある程度の備蓄がございますが、全ての方の特性やニーズに完全に対応したものではないので、ご自身で必要なものは事前に準備していただくことは、引き続きお願いしたいと思います。</p> <p>聴覚障がいをはじめとする多様な障がいへのサポートについて、理想としては避難所を運営する職員がすべてに対応できる体制が望ましいのですが、現実的には難しいところもございます。現状の対応としては、全ての避難所にコミュニケーションボードを設置し、会話が困難な方や情報の受け取りに支援が必要な方に対し、筆談等を含めた何かしらの手段によって意思疎通が図れるよう体制を整えております。</p> <p>防災に関するご意見を今後の議案として挙げてほしいとのご意見について回答いたします。</p> <p>戸田市移動等円滑化促進方針の57ページに避難所におけるバリアフリー化の促進について、58ページに安全な避難経路の確保について記載</p>

	<p>おり、災害時におけるバリアフリーはとても重要なことだと考えております。</p> <p>また、避難所施設のハード面の機能強化については、別途、公共施設の再編計画の中で方針を示しておりますので、今後も府内連携を図りますことから、引き続き協議会の中でも、防災の視点を持ったご意見を頂戴できると幸いです。</p>
委員	<p>ご説明いただいた「戸田市避難行動要支援者避難支援制度」について、一応登録をしているのですが、避難時にお手伝いをされる方というのは、町内会の方々というのは伺っております。現状、町内会等の高齢化が進んでおり、災害時に実際に避難支援が機能するのか、不安を感じております。私の関わっている町内会でもそのような話が出ており、私自身が自宅で被災し、避難所へ向かおうとした際、一体誰が運んでくれるのかという点が、現状不透明です。</p> <p>また、私の把握している範囲では、バリアフリーの設備が整っている避難所は、川岸にある心身障害者センターのみなのではないかと感じており、市内に様々な避難所がありますが、2階以上が避難スペースとなる施設でスロープがあるのが当該施設ぐらいなのではないかという状態です。戸田市は広いので、例えば美 笹地区などにお住まいの当事者が避難する際、福祉センター等があるとは思いますが、大変なのではないのかと感じています。一般の方の避難場所が優先されるのは理解しておりますが、一人でも多くの人を助けたいことであれば、電源の確保やコミュニケーションボードの配備等、可能であれば、高齢者や障がい者向けの避難訓練の実施等について検討していただけたら嬉しいなと思います。</p>
事務局	<p>まず市内の避難所は、大きく分けて「一般避難所」と「福祉避難所」がございます。福祉避難所は、福祉保健センター、埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校、 笹目コミュニティセンターが指定されております。一般避難所としては、市内の小中学校や公共施設が指定されております。避難する際はお近くの避難所に避難をお願いしておりますが、避難所数や施設のバリアフリー化に関するご意見については施設所管課をはじめとした関係課に共有させていただきたいと思います。</p> <p>また、電源やコミュニケーションボード等、各避難所の備蓄等に対する</p>

	ご意見につきましても、ご意見があった旨、危機管理防災課へ共有をさせていただきます。
委員	<p>資料に記載されている「心のバリアフリー」や「人的対応」という言葉について、6月のまち歩きワークショップに参加した際、その時点では、道路の段差や視覚障がい者向けの表示といった「ハード面」にばかり意識が向いており、心のバリアフリーや人的対応などの「ソフト面」についての知識がほとんどなく、ソフト面での視点が不足していたと実感しております。今後、同様のまち歩きワークショップを実施される際は、事前に「今回はこのような視点でも点検してほしい」といった、簡単なレクチャーがあると良いと感じました。</p> <p>また、6月は非常に暑く、事務局の皆様には熱中症対策等、十分ご配慮をいただきました。可能であれば、今後は暑い時期を避けて実施していくだけると大変ありがたく存じます。</p>
事務局	<p>はじめに、まち歩きの事前説明につきまして、あえて詳細な視点を提示しなかった理由として、参加者の皆様がまちを歩く中で感じる率直なご意見を優先したいという事務局側の意図がございました。説明が不足していましたことでご不安を感じさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。次回まち歩きを実施する際には、ソフト面の視点についても十分な事前説明を行い、様々な視点から点検していただけるよう努めてまいります。</p> <p>また、まち歩きの実施時期につきまして、事務局としても過酷な暑さの中での開催となり、大変心苦しく感じingおりました。本年度の基本構想の更新スケジュールとの兼ね合いから、やむを得ず6月の開催となりましたこと、お詫び申し上げます。</p> <p>今後、まち歩きワークショップを実施する際には、スケジュール等も踏まえ、皆様のご負担とならない開催方法で調整をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から何かございますでしょうか。</p>
事務局	特にございません。

会長	特ないようすで、進行を事務局へ戻します。 委員の皆様、活発なご発言と円滑な議事の進行へのご協力をありがとうございました。
事務局	<u>事務連絡</u> 以上